

## 2004年（平成16年）

- ・ 札幌くらのホームページ開設
- ・ 東京公演を追っかけ
- ・ 開催方式を変更して札幌くらのコンサート開催
- ・ ファミリー会員制を導入
- ・ 札幌専務理事・事務局長と懇談会
- ・ 2回目の練習見学会と交流会を実施

### ホームページを開設

札幌くらの存在をもっと多くの人に知ってもらい、会員の拡大も目指すため、ホームページを作りたいという話は以前からありました。しかし、なかなか実現には至りませんでした。今回、パソコンに詳しい武藤義典スタッフの尽力で、ついに念願の札幌くらのホームページを立ち上げることができました。

札幌くらの紹介はもちろん、活動内容など札幌くらのすべてが公開されるようになり、入会受付もできるようになっていて、開設当初は、多くの入会がありました。ホームページ開設で、札幌くらもやっと現代社会の仲間入りをした感じでした。

### 東京公演追っかけ

今年度の総会で東京公演ツアー実施が決まりましたが、旅行会社などと様々に実現性を探りましたが、個人旅行のバックツアーよりも安いツアーの実施は困難との結論に達し、札幌くらとしてのツアーは中止し、個人での鑑賞を会員に呼びかけました。

独自のツアーは実施できないが、実際に東京公演を体験しようと、スタッフの6人で追っかけをすることにしました。3月25日にサントリーホールで行われる公演に合わせ、2泊3日の日程で25日に新千歳空港を出発しました。たまたま、普通ならばなかなか宿泊できない、サントリーホールと同じ敷地内と言

っても良い東京全日空ホテルの特別格安パックを入手でき、6人はリッチな気分でチェックイン。開場時間に合わせてお隣のサントリーホールに入場し、開演を待っていると突然上田会長が出現。東京事務所への出張と重なったとのこと、びっくりしながらも一同喜びました。

尾高さんが急病で、23日の札幌での公演は高関さんに交代されましたが、東京でも高関さんの指揮でした。前半には空席も見られましたが、後半には満席となり、東京の音楽ファンに札幌の存在を十分にアピールできたと思います。

2日目は、午前中、せっかく東京に行くのだから、と会員の衆議院議員小林千代美さんをお願いしておいた国会議事堂の見学をし、午後は「男はつらいよ」の柴又に行き、「寅さん記念館」を見学、十分にお上りさん気分を味わいました。



東京公演追っかけツアーに参加した6人の面々と小林千代美さん

3 日目は、自由行動とし、夕刻に羽田空港に集合して帰路につきました。

## 札幌くらぶコンサート開催方式変更

6 回目を迎えた札幌くらぶコンサートは、今回も西本智実さんを指揮者に迎え、満席の聴衆を集め、4 月 17 日にキタラ大ホールで開催されました。聴衆の皆さんは十分に満足されたようです。

終演後の交流会も、昨年同様ホテル・ルーシス札幌で行われ、多くの参加者があり、いつものような盛り上がりを見せました。

今年からは、札幌くらぶコンサートの開催方式が変更になりました。前回までは、札幌の協力をいただいて札幌くらぶ単独で主催してきましたが、今回からは札幌の自主公演の一つと位置づけ、札幌くらぶが共催者として協力することになりました。理由は、前年に公となった「札幌の経営危機」の財政再建に少しでも役立つ形を求め、文化庁の助成を受けやすくするなどです。

それにともない、チケットの価格も 500 円値上げすることになり、札幌くらぶとしてもできる限りの財政再建への協力をするにしました。

## ファミリー会員制導入

6 月 5 日に、初めて渡辺淳一文学館で総会が行われました。

議事の中で、事務局から会員数拡大の方策の一つとして、ファミリー会員制が提案され承認されました。1 家族で複数の会員になっている場合、1 名が一般会員、他はファミリー会員として会費を一般会員の半額とするという制度です。この制度により、現会員の家族にも会員になってもらおうというねらいです。同時に、10 月以降入会の会員の会費を半額にする制度を廃止しました。札幌くらぶ発足以来、初めての会則の大きな改正となりました。

総会后、昨年に続き弦楽四重奏によるミニコンサートが行われました。

## 専務理事・事務局長と懇談

9 月 16 日、札幌の新専務理事に就任した西村善信さんと、長く空席だった新事務局長に就任した宮澤敏夫さんと、札幌くらぶスタッフとの意見交換の懇談会が行われました。本来はもっと早くに行う予定でしたが、宮澤さんの着任が遅れ、この日になりました。

札幌くらぶから、予定している事業計画や札幌支援について説明し、札幌の協力をお願いしました。結論として、両者が協力し合って、札幌がより良く発展するよう努力していくことを確認し合いました。

## 2 回目の練習見学会・交流会

この年 2 回目となる練習見学会が 10 月 11 日に芸術の森アートホールで、交流会が 11 月 28 日にレストラン・キタラで開催されました。

見学会は、尾高さんの指揮で、定期演奏会と東京公演の練習で、この日はメインとなるマーラーの交響曲第 6 番「悲劇的」という大曲の第 3・4 楽章の練習を見学しました。約 1 時間半の熱のこもった練習に、見学者は圧倒される思いでした。

交流会は回を重ねてきて、会員と楽員の交流がより滑らかに、和やかになりました。参加者からは、年に 2 回ではなく、もっと回数を増やしたら、という声が聞かれました。

◎この年「札幌くらぶ」に登場した人  
大平まゆみ（札幌コンサートマスター）  
尾高忠明（札幌音楽監督）  
末廣 誠（元札幌指揮者）  
金 聖響（大阪センチュリー響指揮者）  
助川 龍（Cb）、渡部大三郎（Cl）  
橋本幸子（Vn）、橋本純一郎（Va）  
佐藤郁子（Vn）、玉木亮一（Tub）  
福井岳雄（Vn）、宮城莞爾（Ob）